

村山産業高等学校又新連部 & 楯岡特別支援学校高等部 1年生 ≪活動の様子≫

- ・それぞれの学校で取り組んでいる「徳内ばやし」の発表会を通して交流
- ・校舎が隣接している立地を生かし、上記交流の他にも、他学部・他学年において交流を実施

村山産業高等学校



楯特のみんなと一緒に踊る時間があるから、その場ですぐに踊れるように見て分かりやすい振付を考えよう。どんな風に伝えたら踊りやすいかな。

事前学習

楯岡特別支援学校



これまで練習してきた「たてとく囃子」を披露することになった！練習の成果を発揮できるか不安だけど、本番まで一生懸命練習しよう。

楯岡特別支援学校



【楯岡特別支援学校担任から生徒へ】

当日と同じ会場、衣装でリハーサルします。活動の流れも確認します。リハーサルの後、演舞を見て、よかったところ、もっとよくなるところをみんなで話し合います。



しゃがむところと腕を回す振りが、かっこよく踊っていてよかったと思います。ポーズを決める時の掛け声をもっと大きな声で出すと良くなると思います。



当日は又新連部からアドバイスがもらえるから楽しみだな。又新連部を歓迎するウェルカムボードも用意して「ようこそ」の気持ちを伝えよう。



囃子に合わせて体を動かしてくれて、音楽も楽しんでもらってるな。目の前で笑顔が見えて嬉しい。

当日

又新連部の踊りはキレがあっ
てかっこいい！生演奏だと太鼓の音の迫力もすごいな。

声がよく出ていて良いな。
私たちも頑張ろう。

一緒に踊れて楽しい！



事後学習

ポーズを合わせて写真を撮ったり、お話したりして楽しかったな。また交流できたら嬉しい。又新連部の演舞の感想も伝えたいから、お礼の手紙を書いて送ろう。

〈村山産業高等学校 教員の声〉

- ・生徒にとっては貴重な発表の場となっています。校舎が隣接しており敷地をシェアしているような感覚で、自然にお互いの姿を見ているので、生徒達には壁がないように感じます。

〈楯岡特別支援学校 教員の声〉

- ・日頃の授業で熱心に練習していました。生徒にとって交流で披露することが大きなモチベーションとなっています。「徳内ばやし見に行こうかな」とコメントする生徒もいました。
- ・二つの学校が混在して踊る姿や記念写真でポーズを合わせる場面を見ると、障がいの垣根を超えた交流の重要性を感じました。部活動との交流で、人数のバランスが良いと感じます。

